

ご取材のお願い

平成 24 年 10 月 22 日
大船渡市漁業協同組合
公益財団法人ヤマト福祉財団

岩手県〔製氷・貯氷施設回復支援事業〕

大船渡市漁業協同組合 製氷・貯氷保管施設の竣工式について

公益財団法人ヤマト福祉財団（本部：東京都中央区、理事長：有富慶二、以下：ヤマト福祉財団）「東日本大震災 生活・産業基盤復興再生募金※」の第 2 次助成先の一つである岩手県の大船渡市漁業協同組合では、建築中であった製氷・貯氷保管施設が完成し、10 月 27 日（土）午前 11 時より竣工式を執り行います。

岩手県の中でも水揚げが多い大船渡魚市場は、大船渡市をはじめ岩手県沿岸南部の漁業者、さらに沖合の三陸漁場で操業する廻来漁船の重要な水揚げ基地です。東日本大震災で関連施設も含め壊滅的な被害を受けましたが、大船渡魚市場は、岩手県や大船渡市の協力による応急復旧で、昨年 6 月、いち早く市場の営業再開を果たしました。

しかし、漁船への氷の供給能力の回復が依然として大きな課題となっていました。

ヤマト福祉財団は、大船渡魚市場への安定的な水揚げを確保し、大船渡市の基幹産業である水産業の早期復旧を図るためには、氷の安定的な供給が不可欠であると考え、23 年 10 月に製氷・貯氷保管施設の新設費用 2 億 4,800 万円の助成を決定しました。

（総事業費 11 億円の内、岩手県・大船渡市負担分の 2/9 相当額を助成しました）

この施設の完成により、製氷能力は震災前の 3 倍以上の 1 日 100 トンに、貯氷量も 2,260 トンから 3,000 トンに、約 33%の増量となります。

今年 2 月 10 日に地鎮祭が行われ、この度の竣工を迎えました。



（先に完成した貯氷施設を使ってサンマ船に氷の供給を再開、建設が進む現場）

岩手県の水産業は復興途上にありますが、港の設備が整うごとに徐々に活気を取り戻しています。震災による被害を乗り越え、より力強い復旧・復興に向かう市場と、本式典の模様を何卒ご取材賜りますよう、お願い申し上げます。

本件に関する報道関係の皆様方からのお問い合わせは下記までお願いいたします。

大船渡市漁業協同組合 総務課 担当：鎌田（0192-27-3133）

公益財団法人 ヤマト福祉財団 担当：早川・渡辺（03-3248-0691）

記

1. 日時 平成24年10月27日(土) 午前11時より
2. 場所 大船渡市漁業協同組合 製氷・貯氷保管施設
住所 岩手県大船渡市大船渡町字下平96番地
3. 主な出席者(敬称略)
 - (1) 大船渡市漁業協同組合
代表理事組合長 岩脇洋一
 - (2) 大船渡市
副市長 角田陽介
 - (3) 岩手県
沿岸広域振興局長 齋藤淳夫
 - (4) 公益財団法人ヤマト福祉財団
東日本大震災復興支援選考委員会 事務局長 山内信幸

4. 施設概要

[新施設]

建物仕様	鉄骨造り2階建て	延床面積	: 約2,700㎡
		製氷能力	: 100t/日
		貯氷能力	: 3,000t

[旧施設]

建物仕様	鉄骨造り2階建て	延床面積	: 約1,622㎡
		製氷能力	: 30t/日
		貯氷能力	: 2,260t

※ 公益財団法人ヤマト福祉財団「東日本大震災 生活・産業基盤復興再生募金」は、東日本大震災で被災された地域の生活基盤の復興や水産業・農業の再生を支援することを目的に創設されました。6月30日をもって募金と助成の募集は終了させていただきました。募金につきましては、142億円3608万1360円となったヤマトグループの「宅急便1個につき10円の寄付」をはじめ、広く一般から募金をたまわり、総額142億7426万4524円となりました。助成につきましては、見える・速い・効果の高い支援を基本方針に国の補助のつきにくい事業や単なる資金提供だけでなく新しい復興モデルを育てるために役立てていくことを目指して、第5次までに助成対象31件に対し、総額142億6600万円の助成を行っています。詳細につきましては、ヤマト福祉財団のホームページ(<http://www.yamato-fukushi.jp/>)をご参照ください。